

銅像は街の顔

練馬区大泉学園 駅前公園

「クールジャパン」が言われて久しい。その中心コンテンツのひとつが「アニメ」である。そんなアニメのキャラクターが銅像として各地に続々とお目見えしている。キャラクターゆかりの地に、作家ゆかりの地に……その地を彩る存在として脚光を浴びている。異彩を放つランドマークキャラクターを追った。

第1回の今回は、東京都練馬区・西武池袋線大泉学園駅前にある銅像群。

ここ練馬区は「ジャパニアニメーション発祥の地」として街を挙げてPRしている。たしかに鉄腕アトムを生み出

した「虫プロ」、日本初の長編カラーアニメ「白蛇伝」を制作した東映アニメーションもこの地にあった。電車を降り駅を二歩出たとたん、人々に微笑が生まれる。キャラクター群のお出迎えだ。



星野鉄郎少年(左)が機械の身体をくれるという星を目指し、謎の美女メーテル(右)とともに宇宙に飛び立つ「銀河鉄道999」



「鉄腕アトム」国民的英雄であり「10万馬力」「科学の子」などいろいろなフレーズが浮かんでくる。



「あしたのジョー」の矢吹丈。宿敵石徹が死んだ時には実際に葬儀が行われたという伝説の名作



一世を風靡した「うる星やつら」のラムちゃん。艶っぽいピキニ姿が目飛び込んでくる



北口を出た正面に「OIZUMI ANIME GATE」。そこをくぐるとキャラクター群がお出迎え



日本のアニメの歴史をひも解く30点にも及ぶパネルが飾られる